

令和3年度教員研究活動報告書

粟屋 仁美 教授（経営戦略・CSR）

学術論文

令和3年6月 「企業の社会性と情報開示：統合報告書までの経緯と論点の整理」『研究論集』第99号，敬愛大学経済学会，pp.69-85.

学会発表等の活動

令和3年6月 統一論題司会（統一論題テーマ「イノベーションと経営の新潮流ーデータサイエンスとオープンイノベーションー」），日本マネジメント学会第83回全国大会，立正大学

令和3年9月 自由論題コメンテータ，自由論題テーマ「SDGsの策定がCSR活動に関する傾注配分に与える影響」，経営哲学学会第38回全国大会自由論題，杏林大学

令和3年10月 学会主催，日本マネジメント学会第84回大会，敬愛大学

令和4年3月 学会報告 報告テーマ「(仮) CSR (企業経営) におけるSDGs・ESGの役割ー市場視点で考える」，経営哲学学会関西部会，立命館大学

学会での役職

経営哲学学会 常任理事

ビジネスクリエーター学会 常任理事・評議員

経営行動研究学会 理事

日本マネジメント学会 理事

競争的資金等の獲得状況

敬愛大学2021年度 研究プロジェクト補助金「中小企業のイノベーション」

飯野 由美子 教授（金融論）

学術論文

令和3年9月「人間とAIの融合序論：未来社会・経済の枠組みへの試論」
Keiai University Discussion Paper, KUDP2021 No.1.

競争的資金等の獲得状況

プロジェクト研究：「トークンの拓く新しい産業金融・高齢化社会の資産形成の可能性」

学長裁量経費参加：森島隆晴教授「クラウドサービス“BigQuery”を利用したビッグデータ分析手法」を文系学生に教える方法の確立とクラウドサービスを使った応用研究の実践」事務作業

学長裁量経費参加：庄司真理子教授「SDGs未来プロジェクトー学園・大学のビジョンを具体化する教育の試行」参加

小山 幸伸 教授（日本経済史・歴史教育）

学術論文

令和3年12月「教職課程における歴史的思考力涵養法の考察ー教職課程「日本史概論」における実践報告ー」『研究論集』第100号，敬愛大学経済学会，pp.3-34.

学会での役職

三田史学会委員（慶應義塾大学）
中央史学会（中央大学）

高木 朋代 教授（人的資源管理）

学術書の刊行

令和4年3月 高木朋代・佐藤邦政・高岡英氣・壁谷彰慶・菊地建至・堤英俊・渡 正・熊代尚記・清野絵『障害者の雇用と「働く」ことの意味―共生社会への道』中央経済社（近刊）※担当執筆：序章，第Ⅱ部第8章・第9章，第Ⅲ部第11章，結章。

学術論文

令和3年10月「高年齢者雇用政策における国の選択：方針、戦略、哲学の滲出」日本労働社会学会 第33回大会報告論集，9p. ※学会報告論文

学会発表等の活動

令和3年10月 日本労働社会学会（Web開催）
報告課題「高年齢者雇用政策における国の選択：方針、戦略、哲学の滲出」 ※自由論題報告

令和4年1月 大阪府社会保険労務士会（Web開催）
講演課題「長期就業を実現する企業の人事管理：若年期から高年齢期に至る人の育成と活用」 ※大阪北支部研修会

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金 基盤研究（A）平成29年度～令和3年度（令和4年度まで繰越し）研究代表

科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽）令和3年度～令和5年度 研究代表

本学 研究プロジェクト補助金（出版助成）令和3年度

成松 恭平 教授（管理会計・原価計算）

学術論文

令和3年6月「ブランド評価問題とその統一評価基準の各種団体の取り組み—Paugam et al.の所説を中心として—」『研究論集』第99号, 敬愛大学経済学会, pp.37-65.

令和3年12月「価値創出の源泉となるブランドの意味とその機能—戦略的管理会計情報システムの構築に向けて—」『研究論集』第100号, 敬愛大学経済学会, pp.35-76.

根本 敏則 教授（交通経済学, ロジスティクス）

学術論文

令和3年6月「長距離トラック輸送の大型化の阻害要因～特積運送を例として～」『日本物流学会誌』No.29, pp.165-172, 共著：味水佑毅, 根本敏則, 後藤孝夫, 利部智（査読有）.

令和3年8月「高速道路の債務償還シミュレーション～高速道路の永久有料化を見据えた一試算～」早期公開版, 『運輸政策研究』Vol. 24, pp.1-8, 共著：後藤孝夫, 谷下雅義, 根本敏則（査読有）.

令和3年8月「東日本大震災の伝承ネットワーク」『計画行政』第44巻, 第3号, pp.21-26, 共著：根本敏則, 矢口和宏.

令和3年9月 “Transportation Demand Management (TDM) of Large Vehicle Parking Spaces in Expressway Rest Areas: Evidence from Japan”, REAAA Vol.63 No.12, pp.3-6, 共著：Yuki MISUI, Takao GOTO, Toshinori NEMOTO, Tetsuro HYODO, Tomo KAGABU.

その他著作

令和3年5月「学会の一般社団法人化」『計画行政』第44巻 第2号, p.25.

令和3年5月「ロボットの目に映る「物流の未来」～コロナ禍をチャンス

- に業界改革の好機～」『Grasp』Angle C（前編），国土交通省，Vol.29.
- 令和3年5月「ロボットの目に映る「物流の未来」～インターネットのよ
うな物流に～」『Grasp』Angle C（後編），国土交通省，Vol.29.
- 令和3年7月「道路課金の新しい展開～EV対距離課金、混雑課金、完全電
子化料金収受～」日本交通政策研究会，部分担当.
- 令和3年8月「小型貨物輸送におけるフィジカルインターネット概念の適
用性に関する研究」日本交通政策研究会，部分担当.
- 令和3年8月「物流標準化による「担い手にやさしい物流」を目指して」ブ
ログレス，pp.2-7.
- 令和3年9月「日本からBtoBのコールドチェーン物流を提案」Viewpoint
this month, ISOS September, pp.6-9.
- 令和3年10月「物流標準化による「担い手にやさしい物流」の実現」『運輸
と経済』Vol.81, No.10, pp.5-12, 座談会.
- 令和3年10月「物流標準化への期待と課題」『運輸と経済』Vol.81, No.10,
pp.2-4.
- 令和3年12月 “Intermodal Freight Transport and Logistics” 『*Maritime
Logistics 3rd edition: A Guide to Contemporary Shipping
and Port Management*』 edited by Dong-Wook Song and
Photis M Panayides, Kogan Page Limited, pp.121-137, 共
著：Katsuhiko Hayashi and Toshinori Nemoto.

学会発表等の活動

- 令和3年7月「道路課金」日交研と自工会の意見交換会，WEB開催.
- 令和3年8月 “Post-Corona Logistics” Japan-China-Korea Forum on
Logistics Development in Kobe.
- 令和3年11月「東日本大震災伝承ネットワーク」防災学術連携体・特別シ
ンポジウム～防災教育と災害伝承への多様な視点～.
- 令和3年11月「コールドチェーン物流サービスの国際標準化」FSSC 22000
ISO 23412 Addendum 普及イベント，基調講演.
- 令和3年11月「ポストコロナを見据えた物流のあり方」文藝春秋カンファ
レンス「総合物流施策大綱 全解剖」，基調講演，文藝春秋西

館ホール.

令和3年12月「物流DX・物流標準化による担い手にやさしい物流の実現」
自民党 物流調査会, 講演, 自民党本部, 永田町.

学会での役職

日本交通学会 理事
(公社)日本交通政策研究会 専務理事
日本海運経済学会 理事
日本計画行政学会 評議員
(財)運輸調査局「運輸と経済」編集委員

競争的資金等の獲得状況

新しい道路課金方法に関する研究
(研究代表者: 根本敏則) 日本交通政策研究会 2021年度
ASEAN時代のロジスティクス構築戦略に関する研究
(研究分担者: 根本敏則) 科学研究費補助金 2019-2021年度
高速道路の休憩施設における大型トラックの駐車問題の解決に向けた提案
(研究分担者: 根本敏則) 科学研究費補助金 2021-2023年度
インフラ損傷者負担原則に基づく高速道路有料道路の提案
(研究代表者: 根本敏則) 科学研究費補助金 2020-2022年度
ダブル連結トラックおよび貨物車隊列走行を考慮した道路インフラに関する
技術研究開発
(研究分担者: 根本敏則) 委託研究 東京海洋大学

芳賀 理彦 教授 (文化翻訳論)

学会での役職

日本比較文学会・事務局委員

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 平成29年度～令和4年度 連携研究者

馬場 正弘 教授（経済政策、産業政策、日本経済論）

学術論文

令和3年12月「研究開発活動の潜在的収益性と安定性—企業レベルのパネルデータに基づく分析—」『研究論集』第100号, 敬愛大学経済学会, pp.77-102.

学会での役職

日本経済政策学会・関東部会理事

藤井 輝男 教授（感覚知覚心理学）

学術論文

令和4年2月「慣用句表現における色彩用語の役割」『医療創成大学研究紀要』第2号.

森島 隆晴 教授（教育経済学）

学術論文

令和4年2月 共著『敬愛大学における数理・データサイエンス・AI教育～副専攻「AI・データサイエンス」と運営組織「AI・データサイエンス教育センター」について』敬愛大学国際研究, 35号.

令和4年2月 共著『副専攻「AI・データサイエンス」により実践する本学のリテラシーレベル教育～MDASH-Literacy 認定科目「情報概論」「データサイエンス総論」と新規科目「AI・DS（データサイエンス）へのいざない」の概要』敬愛大学国際研究, 35号.

矢口 和宏 教授（公共経済学、経済政策）

学術論文

令和3年8月「東日本大震災伝承ネットワーク」『計画行政』第44巻第3号,
pp.21-26. * 敬愛大学根本敏則教授と共著, 計画行政学会から
の依頼で「特集論説」として掲載

学会発表等の活動

令和3年5月 学会発表:「第二期復興・創生期間のまちづくりの課題」
→日本経済政策学会第78回全国大会（関東学院大学）

令和3年11月 学会セッション座長: Session13. “Welfare and Social Policy”,
chairman.
→日本経済政策学会第20回国際会議（東京大学）

学会での役職

公共選択学会: 事務局担当理事

日本経済政策学会: 関東部会幹事（学会誌「経済政策ジャーナル」編集委
員会事務局長）

日本経済政策学会国際会議: プログラム委員会委員

彌島 康朗 教授（キャリア教育）

学術論文

令和3年12月受付, 令和4年2月採録「CAD/CGの基礎教育—立命館大学
理工部環境都市科を事例に—」『CIEC』春季査読付き論文,
笹谷康之*1・彌島康朗*2・山本奈美*3・遠藤 昭彦*

その他著作

令和4年2月 教育家庭新聞より「TIARA」とその活用に関して取材を受け,
令和4年3月上旬掲載予定

学会発表等の活動

- 令和3年9月 口頭発表「情報活用に着目しジェネリックススキル向上を狙う
キャリア教育とリフレクション分析」私情協教育イノベーション
大会・公益法人私立大学情報教育協会・オンライン
- 令和3年10月 University Pitch and Conferenceに登壇「“気づき”を可視化
して教員の負担を減らしながら学修効果を高める」・CIC
Tokyo
- 令和3年11月 口頭発表「実務経験を活用したジェネリックススキル修得を促
す教育」日本実務教育学会・社会情報大学院大学・オンライ
ン
- 令和3年12月 口頭発表「リフレクション分析とGPA比較」学習分析学会・
上智大学／ハイフレックス
- 令和3年12月 The Global EdTech Startup Awards (GESA) 2021 R&D
Open Innovation部門 日本予選選出「リフレクション分析
で気づきを測り学修効果を高める」・CIC Tokyo
- 令和4年2月 Startup Pitch@CIC EdTechに登壇「研修レポートの再資源
化 テキスト分析で“気づき”を抽出 研修コストパフォー
マンスup」・CIC Tokyo
-

藪内 正樹 教授（中国経済、医療と健康の経済）

その他著作

- 令和3年6月「中国はなぜ覇権主義に突き進むのか」（北東アジア・識者の
機構シリーズ）国際経済連携推進センター
- 令和3年9月「私たちは何を選択するのか：9.11, 3.11そして2021」世界経
済評論IMPACT
- 令和3年10月「北朝鮮の中距離ミサイルは日本への恫喝：脅威も歴史認識
も事実に基づかねばならない」世界経済評論IMPACT
- 令和4年3月「人は何のために生まれてきたのか—宇宙と生命と人類から
考える敬天愛人」『敬愛大学総合地域研究・第12号』
- 令和4年3月「ロシアのウクライナ侵略：誰の、何のための戦いか?」, 「ロシ

学会での役職

日本日中関係学会：評議員

和田 良子 教授（実験経済学・行動経済学）

学術論文

敬愛大学ディスカッションペーパー “Experimental Analysis of Individual Choice Models Accommodating Risk Variations” No.2.

学会発表等の活動

令和3年10月 日本経済学会秋季大会 討論者

A Questionnaire for Dilation Property of Ambiguity by
Kato, Hiroyuki への討論

令和3年12月 京都大学経済研究所セミナー報告

“Comparative ambiguity aversion across information
sources: an experimental approach”

競争的資金等の獲得状況

京都大学経済研究所のプロジェクト資金「リスク回避とあいまいさ回避の
分離測定：実験的アプローチ」

かんば財団助成金「高階のリスク選好に着目した，保険選択にみる利他性
と公衆衛生の公共財供給における戦略の関係についての研
究」

渡辺 智之 教授（財政学）

学術論文

令和3年6月「消費課税の意義と将来構想」『租税法研究』49号, pp.1-17.

その他著作

令和3年8月「デリバティブを含む金融所得課税の一体化」『税理』64巻10号, pp.2-7.

学会での役職

国際租税学会（IFA）日本支部理事

大久保 利宏 特任教授（スポーツプロモーション）

学術論文

令和3年12月「東京2020オリンピックにおける千葉県内2市の事前キャンプ地としての成果と今後の可能性」『研究論集』第100号, 敬愛大学経済学会, pp.135-161.

金 珍淑 准教授（流通・マーケティング）

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金 基盤研究（A）平成29年度～令和4年度 連携研究者

遠藤 貴美子 准教授（経済地理学）

その他著作

令和3年6月 書評 上野和彦・小俣利男編(2020):『東京をまなぶ』古今書院.

学会発表等の活動

令和3年8月 日本地域経済学会関東支部例会（zoom開催）コメンテーター
議題「地域経済論と中小企業論の交点と肥沃化の可能性」

学会での役職

日本地理学会 総務専門委員会委員

経済地理学会 選挙管理委員会委員

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金 基盤研究(C)「SDGs実現に向けた主体間ネットワーク
の構築と地域経済社会の創造的発展」[20K01163]（研究代表
者：小田宏信）令和2年度～令和5年度 研究分担者.

佐竹 恒彦 准教授（地域事業創造論）

学術論文

令和3年6月「中小企業再生時の変革型リーダーシップと理念創成—たむ
ら社の事例から—」第99号, 敬愛大学経済学会, pp.3-36.

学会発表等の活動

令和3年10月 本学で開催された日本マネジメント学会の第84回全国研究大
会における実行委員として, 予稿集の編集ほか, 大会準備・
運営に取り組んだ.

学会での役職

経営行動研究学会理事

高岡 英氣 准教授（スポーツ哲学、スポーツビジネス論）

学術書の刊行

令和4年3月『障害者の雇用と「働く」ことの意味：共生社会への道』中央経済社（共著者：高木朋代ほか）.

学術論文

令和4年3月「日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会浅田学術奨励賞・受賞記念講演報告：プロフェッショナル競技者の概念的考察」体育哲学年報.

学会発表等の活動

令和3年9月「eスポーツと既存スポーツの差異に関する一考察：ゲームの記号論と身体が存在論的位置づけから」日本体育・スポーツ・健康学会，オンライン開催.

令和3年9月「プロフェッショナル競技者の概念的考察」日本体育・スポーツ・健康学会，オンライン開催.

学会での役職

日本体育・スポーツ・健康学会 機関誌編集委員

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金：基盤研究（A）「高齢・障害者の雇用政策・差別禁止法の効果研究：組織における人間行動の影響への着目」[17H01000]（研究代表者：高木朋代）2017年度～2021年度，連携研究者

星野 智樹 准教授（世界経済論、アメリカ経済論）

競争的資金等の獲得状況

公益財団法人石井記念証券研究振興財団における令和3年度研究助成（「新興国を中心に見た欧州共通通貨ユーロの実態」，令和3年9月～令和5年3月，個人研究）

村上 翔一 准教授（会計学）

学術論文

令和3年8月「第6章 ブロックチェーンを活用した取引や簿記への影響—スマートコントラクトとトークンエコノミーを中心として—」日本簿記学会簿記理論研究部会『AI時代のコンピュータ会計と簿記』最終報告書，pp.67-84.

令和3年12月「コンセンサス・アルゴリズムの観点に基づく暗号資産の会計処理—マイニング、ステーキング、ハーベスティングの理解を通じて—」『研究論集』第100号，敬愛大学経済学会，pp.103-131.

その他著作

令和3年10月21日から12月31日 連載，税理士・会計士 1日1問で簿・財重要ポイント時短マスター 50，会計人コース Web（<https://kaikeijin-course.jp/category/learning/%e3%80%90%e7%b0%bf%e3%83%bb%e8%b2%a1%e3%80%91%e9%87%8d%e8%a6%81%e3%83%9d%e3%82%a4%e3%83%b3%e3%83%88%e3%80%80%e6%99%82%e7%9f%ad%e3%83%9e%e3%82%b9%e3%82%bf%e3%83%bc50/>）

学会発表等の活動

令和3年8月「AI時代のコンピュータ会計と簿記（最終報告）」，岩崎勇（発

表代表者), 坂上学, 島本克彦, 高須教夫, 千葉啓司, 村上翔一,
日本簿記学会第37回全国大会, 専修大学
令和3年12月「実務対応報告第38号の理解と処理」, 日本簿記学会簿記理論
研究部会, Zoom開催

八木 直人 准教授 (マクロ経済学)

学術書の刊行

令和3年9月『CBT EREミクロ・マクロ 経済学検定試験 対策問題集』経
済法令研究会 (共著)

米田 紘康 准教授 (行動経済学・神経経済学)

学術論文

令和4年3月 高橋和子, 米田紘康, 大塚慎太郎, 三幣真理, 森島隆晴, 「副
専攻「AI・データサイエンス」により実践する本学のリテ
ラシーレベル教育—MDASH-Literacy 認定科目「情報概論」
「データサイエンス総論」と新規科目「AI・DS (データサイ
エンス) へのいざない」の概要—」『敬愛大学国際研究』第
35号.

令和4年3月 高橋和子, 米田紘康, 森島隆晴, 大塚慎太郎, 工藤龍雄, 三
幣真理, 成松恭平, 「敬愛大学における数理・データサイエン
ス・AI教育—副専攻「AI・データサイエンス」と運営組織
「AI・データサイエンス教育センター」について—」『敬愛
大学国際研究』第35号.

競争的資金等の獲得状況

科学研究費助成事業 基盤研究 (C), (2020年4月1日～2023年3月31日, 直
接経費, 研究代表者), 継続
科学研究費助成事業 挑戦的研究 (萌芽), (2021年7月9日～2024年3月31日,

直接経費，研究分担者)，新規
